

No. 6 4 春の海



春の海 はるのうみ HARU NO UMI

分類：先端部が垂れた平咲きの三英花です。花容（花全体の形状）では、平咲きで先端部が下方向に垂れ下がる「新花の江戸花容を示す品種」です。

外花被：丸弁で大きく、先端部はやや波打っています。花被片全体の花色は薄い紫色で、基部（根本）が非常に濃い青紫色です。周縁部は淡い紫色で白色になることもあるので、外花被片の中でも周縁部と基部の花色の濃淡が非常に異なる点が特徴です。アイの黄色部分は非常に大きく目立ち、縦径×横径は $2.0 \times 1.0\text{cm}$ で他の品種と比べて非常に大きいです。アイの周縁部は白く抜けています。脈は赤紫地で細く見えますが、周縁部にいくほど目立たなくなりますが、明瞭な白色の覆輪とはいえない色彩です。

内花被：橢円形で幅が広く、やや内巻きとなって軸方向に直立します。花色は赤紫色で周縁部は細い白色の糸覆輪が発達します。

花柱枝：芯が太く軸方向に斜め上に直立します。基部は細く、先端部は若干太くなります。基部の色は白色で紫味がかりますが、先端部に向かうにつれて紫色になります。周縁部は白色。花柱枝の中心部から裂開し、先端分にはずい弁が形成されます。ずい弁は直立して先端分はやや内巻きとなり、細かな鋸歯が目立ちます。ずい弁の先端部は白色です。